

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1100））
2. 日 時：平成30年7月3日 17時50分～19時45分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎安全管理調査官、名倉安全管理調査官、義崎管理官補佐、中川上席安全審査官、吉村上席安全審査官、千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、正岡主任安全審査官、村上主任安全審査官、秋本安全審査官、田尻安全審査官、照井安全審査官、日南川安全審査官、関根技術研究調査官、宇田川原子力規制専門職矢野審査チーム員、竹内技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 調査役 他19名

東北電力株式会社：原子力部（原子力業務） 副長 他2名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 設備計画グループ 課長

他3名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 主任 他1名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保修部 保修計画課 担当 他1名

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力設備） 副長 他1名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当 他2名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電から、本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る説明スケジュール、東海第二発電所の工事計画認可申請書のうち計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書、ブローアウトパネル及びブローアウトパネル閉止装置の設計方針等について説明があった。原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【ブローアウトパネル閉止装置の不具合の対応について】

○閉止装置に用いられる各部品の強度の簡易評価結果については、評価の考え方を示すとともに強化対策する場合の目標裕度を整理して提示すること。

- (2) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・V-1-5-1 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（計測制御系統施設）のうち 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 補足-240-1【計測装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について】
- ・ブローアウトパネル閉止装置の不具合の対応について